

# Windows7 32Bit 版 再起動問題対応ドライバーの導入

2018年6月14日

## 【概要】

2018年3月より Microsoft 社の Windows Update の適用後、Windows7 32bitOS 環境の一部 PC にて、PC 起動時に再起動が繰り返されたり、弊社ソフトウェアを起動した直後に再起動するという問題が発生しておりました。

この問題について、Windows Update で適用されたセキュリティ更新プログラムのいくつかとセキュリティキーのドライバーの互換性の問題に起因していることが判明いたしました。

本問題の改善にあたり、セキュリティキーのメーカー(Gemalto 社)が最新ドライバー(Ver 7.80)を公開しました。

この最新のドライバーの導入が改善に有効と思われるので対処方法をご案内いたします。

該当されるお客様は本資料の手順を参考に、対処方法を実施して頂けますようお願いいたします。

## 【症状 A】

Windows が正常に起動せず、再起動を繰り返してしまう ————— P.2 から  
(再起動繰り返しの停止)

## 【症状 B】

Windows 起動後、弊社ソフトウェアを起動するとその直後再起動してしまう ——— P.5 から  
(最新ドライバーの導入)

## 【備考】

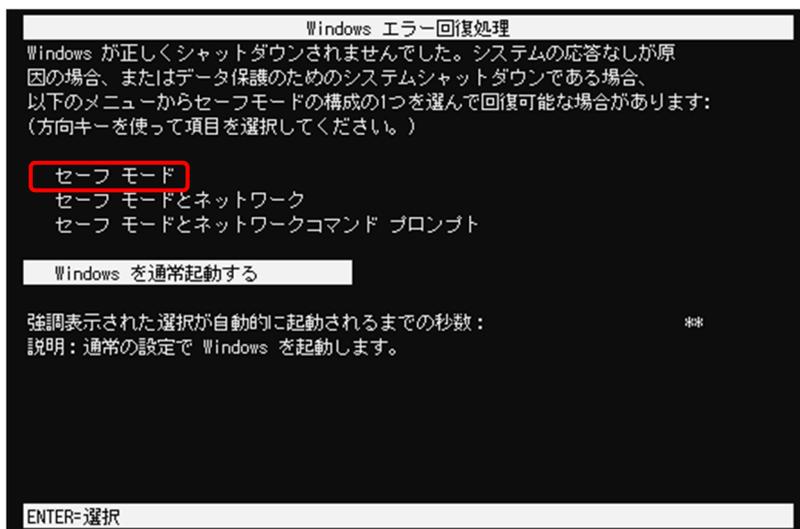
Windows7 32bit の環境にて、多く発生しておりますが、Windows10 32bit 等他 OS の一部 PC でも稀に発生する可能性があります

## 【症状 A】再起動を繰り返してしまう場合

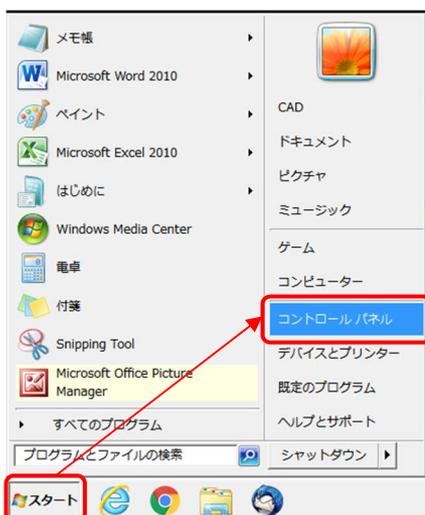
Windows を起動し、デスクトップ画面が表示されると突然再起動してしまう。

その後「Windows エラー回復処理」画面が表示されるが、「Windows を通常起動する」を選択して起動すると電源投入直後の状態になり、また「Windows エラー回復処理」画面が表示される状態が繰り返されてしまう現象を停止させます。

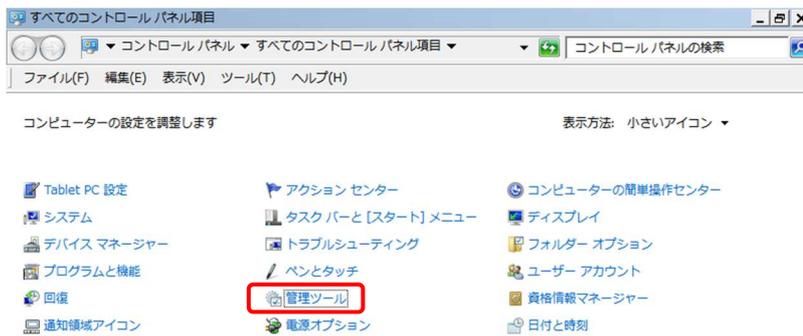
A-1) PC 電源を入れた後、「Windows エラー回復処理」画面にて「セーフモード」を選択します。



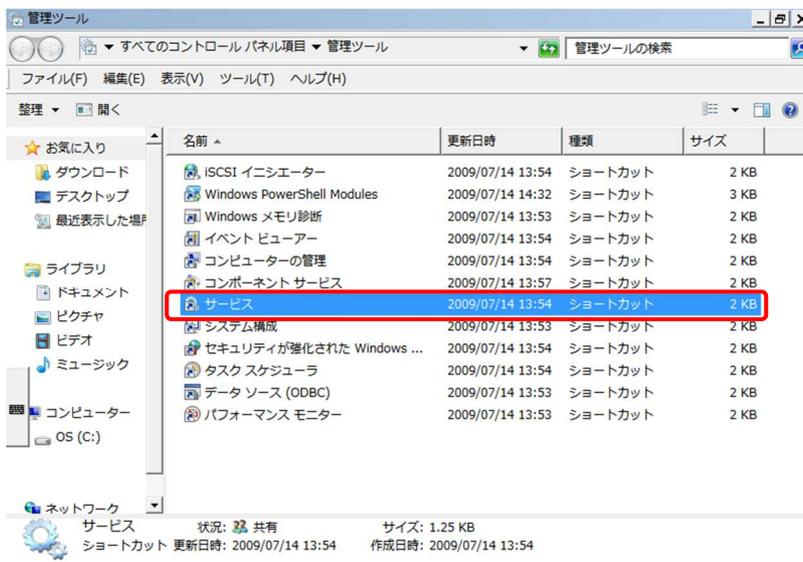
A-2) セーフモードで起動後、「スタート → コントロールパネル」をクリックします。



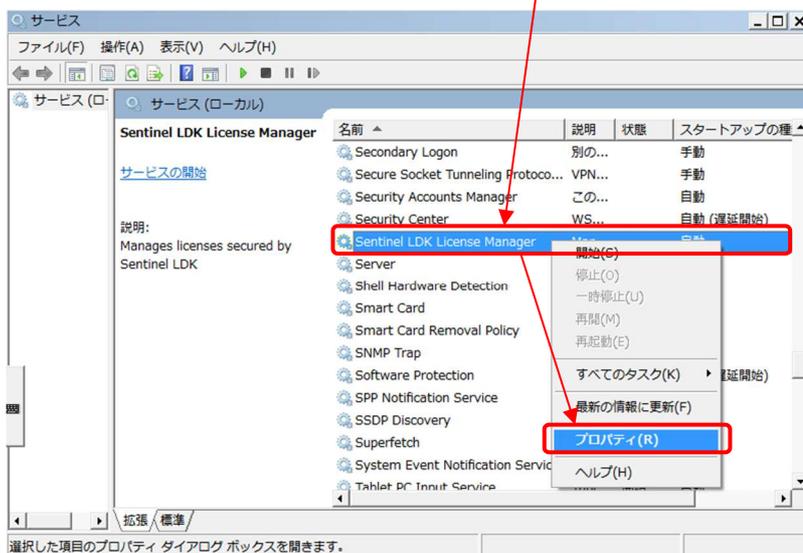
A-3) コントロールパネルから「管理ツール」をクリックします。



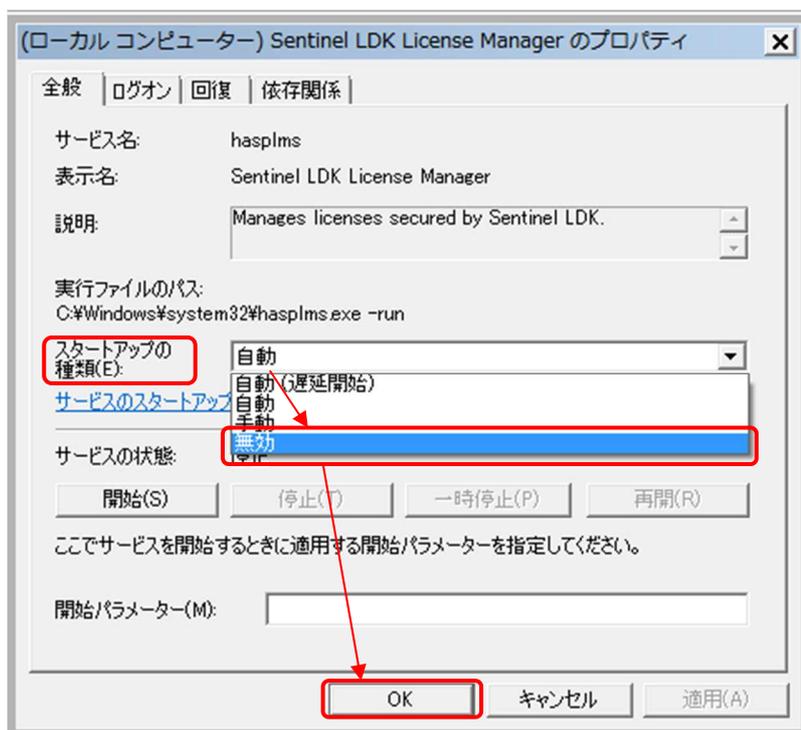
A-4) 管理ツールから「サービス」をクリックします。



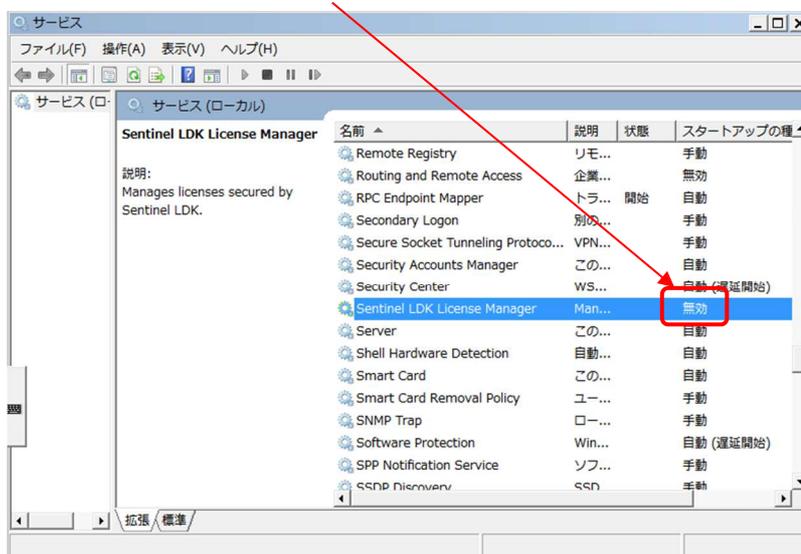
A-5) サービス (ローカル) の名前から「Sentinel LDK License Manager」を選択して、そこで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



A-6) 全般タブで「スタートアップの種類」をクリックして、「無効」を選択し、[OK]をクリックします。



A-7) サービス (ローカル) 画面に戻るので、「Sentinel LDK License Manager」の「スタートアップの種類」が「無効」になっていることを確認して[×]をクリックして閉じます。



A-8) 「スタート」から再起動を選択して、Windows を再起動させます。  
再起動を繰り返さずに正常に起動できることを確認してください。

引き続き次項 (P.5) 「最新ドライバーの導入」へお進みください。

## 【症状 B】最新ドライバーの導入

Windows は正常に起動できるが、弊社ソフトウェアを起動するとその直後に再起動してしまう場合の対処として、最新のセキュリティキーのドライバーを導入することで改善できます。

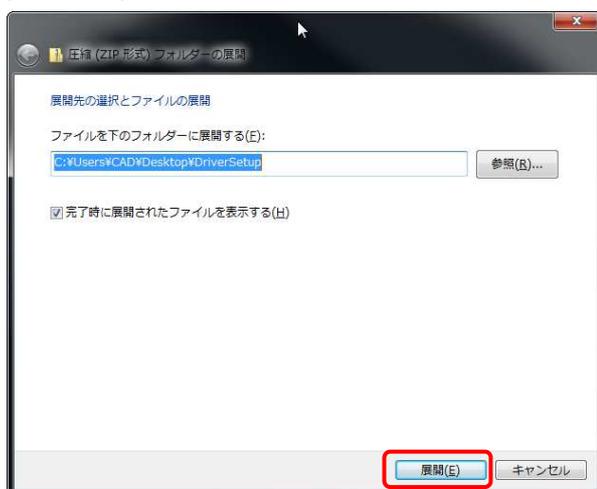
下記手順は、正常に起動している Windows にて実施してください。

**※本作業を行う場合には管理者権限のユーザーにてログオンしてください**

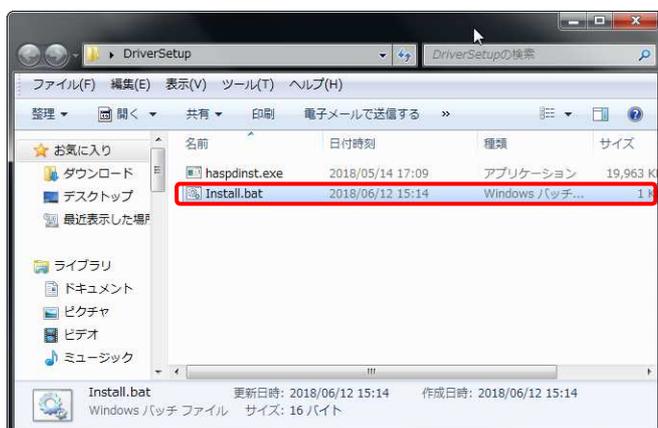
B-1) 弊社ホームページよりダウンロードした「DriverSetup.zip」ファイルを選択して、そこで右クリックし、「すべて展開」をクリックします。



B-2) 圧縮(ZIP 形式)フォルダの展開ウィンドウで、[展開] をクリックします。

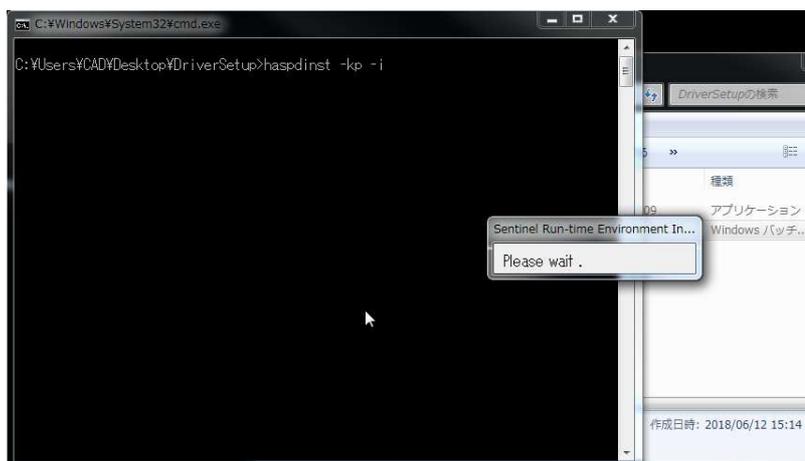


B-3) 展開後、開かれたフォルダの中の「Install.bat」ファイルをダブルクリックします。



B-4) 下図のようにウィンドウが開き「Please wait...」と表示されますので、しばらくそのまま待ちます。

注意) 一瞬で消えてしまい表示されない場合、再度前ページ B-3)を実施してみてください。

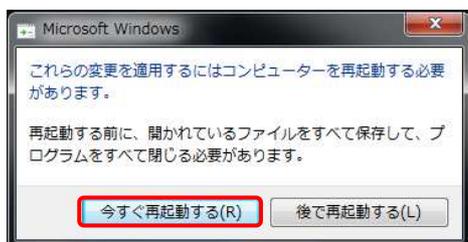


B-5) 下図のように「Please wait...」から「Operation successfully completed.」と表示が変わったら、右上の[×] をクリックして閉じた後、適用のために windows を再起動してください。



※上記が表示されず下図のように再起動を促すウィンドウが表示される場合があります。

その際には [今すぐ再起動する] をクリックすることで Windows を再起動し適用できます。



これで最新のセキュリティキードライバーの導入が終わりました。

以前の回避対応の際、問題のあった Microsoft のセキュリティ更新プログラムを、非表示にしている場合は、次項 (P.7) 「非表示にした更新プログラムの復旧」へ非表示にしていない場合は、(P.10) 「最新ドライバーの導入後の動作確認」へお進みください。

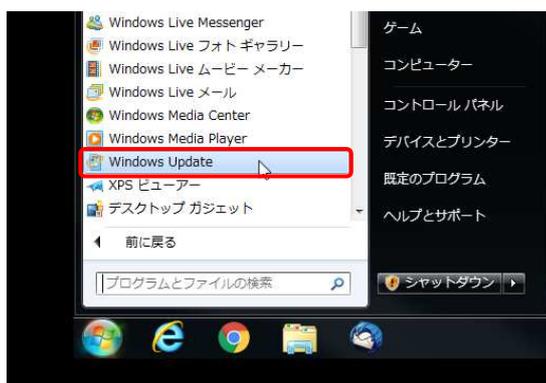
## 【手順 C】 非表示にした更新プログラムの復旧

以前に再起動の症状が発生して回避する為の、応急対応を行った際に問題のあった Microsoft 提供のセキュリティ更新プログラムを非表示としていた場合、セキュリティ更新プログラムを再度導入する設定に変更する手順となります。

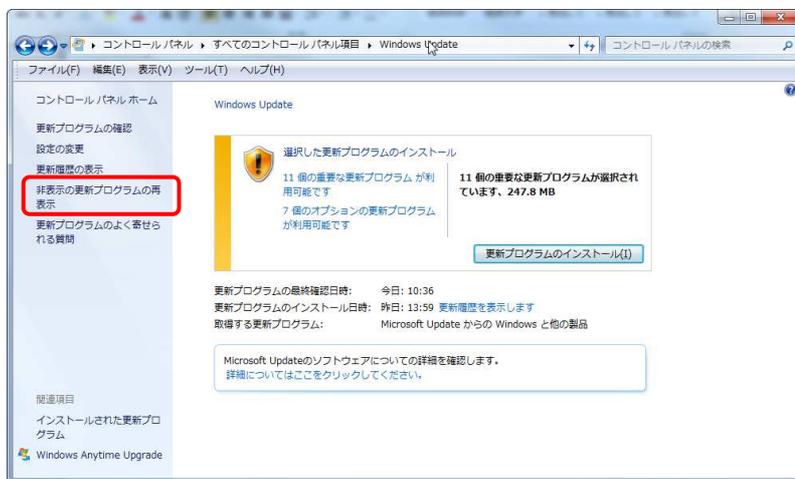
非表示にしていない場合は、(P.10)「最新ドライバーの導入後の動作確認」へお進みください。

C-1) 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Update」を選びます。

※「コントロールパネル → システムとセキュリティ → Windows Update」でも同様です。



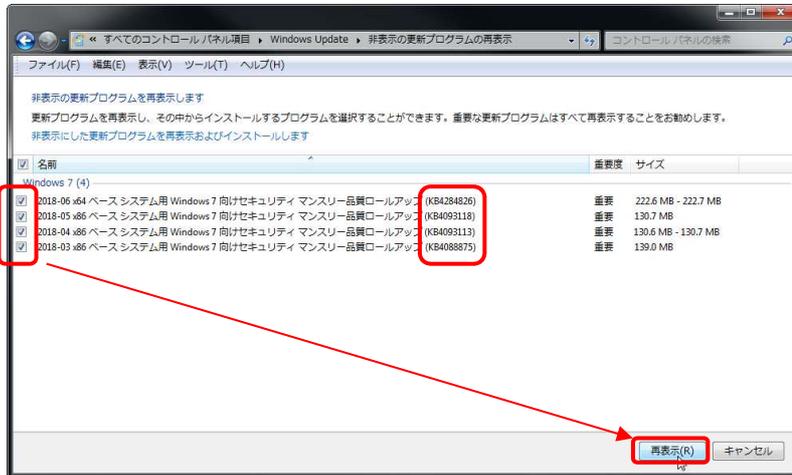
C-2) 左側のメニューから「非表示の更新プログラムの再表示」をクリックします。



C-3) 一連の応急対応にて非表示としていた更新プログラムが表示されます。

下記の番号を確認し、それぞれにチェックを入れて [再表示] をクリックします。

**(KB4088875)、(KB4088878)、(KB4088881)、(KB4093108)、(KB4093112)、  
(KB4093113)、(KB4093118)、(KB4103712)、(KB4103718)、(KB4103725)、  
(KB4103721)、(KB4103727)、(KB4103731)、(KB4284826) など**



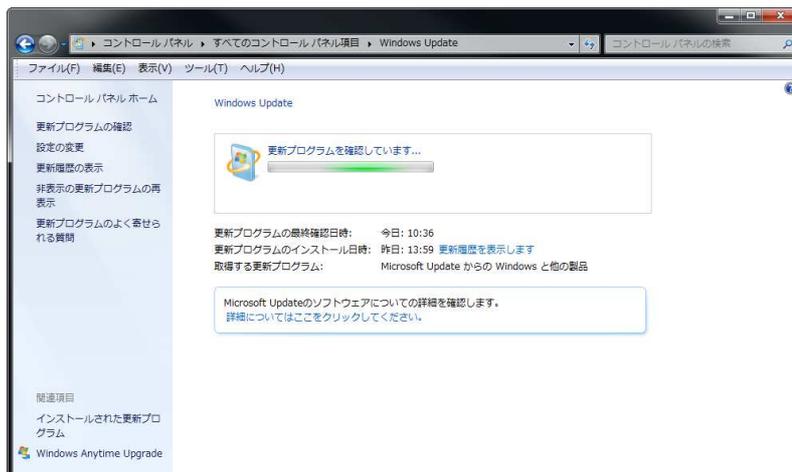
**【注意】**

※今回の一連の対応で非表示とした上記更新プログラムは、2018年6月13日時点のものであり、Windows7以外のものも記載しています。

それ以外の番号の更新プログラムが表示されている場合は、今回の再起動問題の対象外のものと思われるので、チェックを入れないようご注意ください。

また過去に非表示にしていた一覧に番号が表示されない場合もあります。

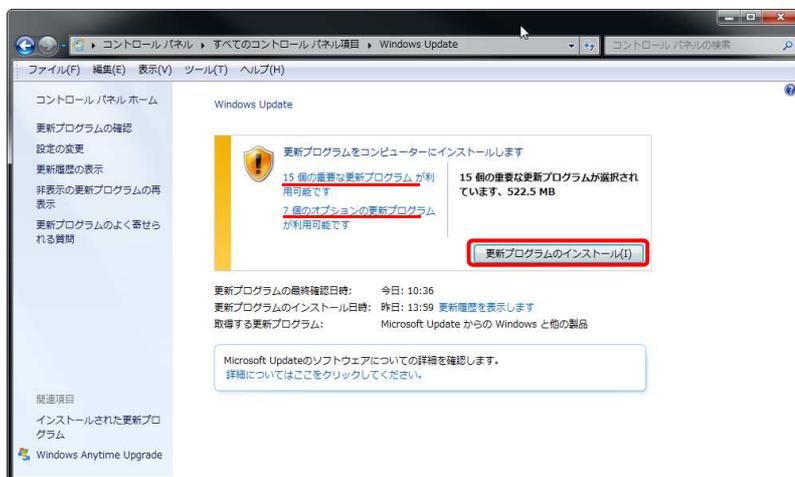
C-4) 下図のように現時点での更新プログラムを再取得し始めますので、そのままお待ちください。



C-5) 再取得が終わると、現時点での「重要な更新プログラム」、「オプションの更新プログラム」がすべて表示されます。

画面の指示に従い、それぞれ更新プログラムのインストールを行ってください。

※Windowsの再起動が必要な場合があります



これで非表示にした更新プログラムの復旧が終わりました。

引き続き次項 (P.10) 「最新ドライバーの導入後の動作確認」へお進みください。

## 【手順 D】最新ドライバーの導入後の動作確認

---

これらの作業により最新ドライバーが正しく適用され、Windows 再起動繰り返しが発生せず、また Microsoft の更新プログラムが適用された最新の状態となります。

本セキュリティキーを使用している弊社ソフトウェアが正しく起動することを確認してください。

起動できない場合やご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

TEL : 050-5502-3010

受付時間 9:30~18:00 (土曜、日曜、祝祭日を除く)